

# ギャラクシー賞入賞作品決まる 贈賞式は6月3日

## 4月理事会報告

2010年4月27日理事会を開催した。  
出版編集委員会

「GALAC」7月号はギャラクシー賞の発表号とするほか、3Dテレビについての記事も載せる。表紙は西島秀俊さん、パーソンは宮本亜門さん。8月号はギャラクシー賞贈賞式のレポートと選考経過を特集し、表紙は板尾創路さん。

◇選奨事業委員会  
第47回ギャラクシー賞の入賞作品、個人賞が各部門で決まった。4月28日正午ホームページで発表する。

〈テレビ部門〉  
下期の応募は111本で44回以後では最多になった。作品全体のレベルはまずまずで入賞作にはきらりと光るものも多く、ドキュメンタリー、ドラマのほか、バラエティ、音楽番組も久しぶりに入った。〈ラジオ部門〉  
応募は53本で去年より2割減った。応募社数は16社であまり変わらず1社から

多数の応募というのが減った。上期は太宰治を扱った作品が多く、全般的に亡くなった方を取り上げたドキュメンタリーがよかった。

〈CM部門〉  
応募は137本で減ったが、シリーズものが増えた。大手制作会社の作品やブランドもののほか、ラジオをテレビで広告するものなどバラエティに富んだCMが入賞した。

〈報道活動部門〉  
下期の応募は18本で半期としてはこれまでの最多だったが、年間では27本だった。作品のレベルは上期より上がり、ラジオも1つ入賞した。報道活動の対象拡大について議論している。

◇ギャラクシー賞贈賞式について  
贈賞式は中国放送の青山高治アナをメインの司会者に、東海林克江さんとともに進める。去年予定の時間を大分オーバーしたのでテンポ・アップする。祝宴で

は各部門の受賞者と審査員の語り合いを図るため、部門ごとに工夫をしよう。

◇志賀信夫賞について  
正会員のアンケートをもとに選考委員会で選考した結果1回目の受賞者は澤田隆治さんに決定した。ギャラクシー賞の個人賞とともに4月28日に発表し、ギャラクシー賞の贈賞式で表彰状と盾をお贈りする。

◇退会の確認  
天野輝和さん、西山弘道さん、星島節子さん、中村信也さん

◇総会の日程  
6月20日(日)午後2時45分から西新宿のスパビル地下1階会議室で開催することになった。追って案内状をお届けするが、ぜひご出席いただきたい。

◇理事会の日程  
5月理事会は5月26日(水)午後6時30分から。6月は総会に先立って6月20日(日)午後1時から総会と同じスパビル地下1階会議室で開く。

7月理事会は新体制の下で7月26日(月)午後6時30分から放懇事務所で開催。「出席」音好宏、隈部紀生、上滝徹也、藤田真文、市村元、入江たのし、兼高聖雄、五井千鶴子、坂本衛、嶋田親一、滝野俊一、丹羽美之、橋本隆、藤久三ネ

## 新年度理事選挙、 開票結果の報告

◇2010年度は役員改選の年に当たり、理事についての選挙を「細則」第1条によって、無記名の郵送投票で行った。

投票は3月31日正午に締め切り、午後3時から選挙管理委員会によって開票された。  
選挙管理委員は、鈴木典之さん、飯田みかさん、さらだたまこさん

の3会員に委嘱。互選により鈴木さんを委員長に選出して開票を進めた。

◇選挙結果の公表(細則第4条)

会員数	192
投票総数	106
有効投票数	103
白票	2
無効票	3

投票率 55・20%

◇理事候補者について

理事選挙の得票数の上位15名までの会員に理事候補者として文書でお知らせし、理事に就任する意志の有無を確認したうえ、4月27日に「理事会準備会」を開催した。ここで理事長候補者とその他理事を指名した。この結果に基づいて、監事を含めて6月20日に開催する総会に提案して選任を求めることになった。



# ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・6月号・付録  
2010年6月6日発行(毎月1回6日発行)  
昭和43年3月8日第三種郵便物許可  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
NPO法人放送批評懇談会  
TEL(03) 6379-5521 / FAX(03) 6379-5510  
ホームページ http://www.houkon.jp/  
Eメール kondankai@houkon.jp  
編集・隈部紀生